



2024年 3月号

発行者

天理市人権問題啓発活動推進本部

本部長 天理市長

事務局 人権センター



天理の夜間中学(天理市立北中学校夜間学級)の紹介

天理の夜間中学は、1979年に「学校で学びたい」という地域の義務教育不就学、未終了の人たちの切実な声に応えるために、「天理の夜間中学をつくる会」による自主夜間中学として始まりました。そして1981年に天理市が市民の要望に応える形で公立の学校となりました。



現在、天理の夜間中学には、生い立ち・境遇・年齢・民族・国籍・地域など様々な違いを持った45人の生徒さんたちが在籍しています。戦争・差別・障害・貧困・病弱・家庭事情・いじめによる不登校などの理由で学齢期に教育の機会を十分に保障されなかった人たちや仕事や結婚で主にアジア南米地域から日本に来た人たちが、それぞれの目標を持って学んでいます。



生徒さん達は、なかまと共に夜間中学で学びながら、人や社会とのつながりを深め、自信を回復していきます。言い換えるなら、まさに「学ぶことで人権を回復していく」プロセスを夜間中学で体験します。生徒さん達が夜間中学で学ぶことの意義はそこにあります。

しかしながら、夜間中学の存在をまだまだご存じのない方が多いと思われます。そこで、天理の夜間中学では天理駅の南団体待合所を借り、「天理の夜間中学展」で共同作品や作文などを市民の方々に見ていただいています。そして、作品や作文に対する感想も寄せていただいています。このようなとりくみを積み重ねることで広く市民の皆さんに夜間中学への理解が深まることを願っています。

色紙の作品「夜間中学への思い」

下よ
んるたで生もた
学きじ学人ど滑
もで感じ中とも超
字がに間字リ
文息う夜文と

分とた分せ
かこっ自出な代
んいかでちに美
らたなん持う田
知いえ学気よ奥
字言言字のるた

うん
うべたがやま
ちしごでてわ
んでうんと
がくま
やぶきにしに

がうせいして
んよすなたナ
ほかるてがにし
にわかっかくまサ
わなからき

2023年度 共同作品(ちぎり絵) (146 cm×106 cm)

